

ちくさんスナップショット

平成 26 年 10 月 第 41 号 株式会社富士飼料

【秋といえば…】

【宮城県南・福島担当：沼田幸雄】

秋といえば、「読書の秋」「スポーツの秋」「芸術の秋」…など様々ありますが、皆さんは秋といえば何をイメージされますか？やっぱり私が思い浮かぶのは「食欲の秋」「行楽の秋」です。

◎【食欲の秋】夏場から秋にかけての食生活から来る胃腸の疲れを改善するのも、これから来る厳しい冬に向けて体力を蓄えるのも「秋」。そんな時期、是非行きたいのは「芋煮会」。家族で和気藹々と団欒を楽しむもよし、仲間内でワイワイ楽しむもよし。お酒を飲みながら美味しい地の物をたくさん食べて体力をモリモリ付けたいものです。東北の伝統行事「芋煮会」で胃袋から元気になりましょう！

◎【行楽の秋】毎日の仕事の繰り返しで精神的な負担は掛かっておりませんか。せつかくの「行楽の秋」です。紅葉見物を楽しみながら綺麗な空気を吸いに行ったり、近場の温泉に行き、ゆったり湯につかってみてはいかがでしょうか。「良い仕事は良い休みから」という言葉もあります。

気分転換に、たまには自分を労わってみてください。ちょっとした空き時間を利用して心身ともにリフレッシュ。秋を満喫しましょう！

【スタッフ紹介】

半沢尚康と申します。

亘理町出身、39歳独身、配送担当です。

学生時代はラグビーに所属。

「悩むよりまず行動する」が Motto。

やる気と体力には自信があります。

先輩方を見習って一日も早く仕事を覚え、テキパキと仕事をこなせるように頑張りますので、よろしくお祈いします。

見た目によらず、人懐っこい性格です！



【黒毛和牛肥育データ】 【宮城県北・岩手県南担当：松浦卓也】

今年注目されていた、夏秋花、徳久福の出荷データです。

徳久福、9頭（去6頭、めす3頭）

夏秋花、9頭（去5頭、めす4頭）

今後の種付けのご参考になればと思います。

《徳久福》 安福久×平茂勝×安福165の9

《夏秋花》 第1花園×安福165の9×紋次郎

父	母の父	母の祖父	性別	出荷体重	格付	脂肪交雑	枝肉重量	単価
徳久福	百合茂	神高福	去	830	A4	7	542 kg	1,743
徳久福	百合茂	勝忠平	去	720	A3	4	431 kg	1,608
徳久福	百合茂	平茂勝	去	710	A4	7	445 kg	1,930
徳久福	勝忠平	金幸	去	850	A5	8	538 kg	1,959
徳久福	百合茂	平茂勝	去	760	A3	4	477 kg	1,661
徳久福	勝忠平	金幸	去	830	A3	5	521 kg	1,665
徳久福	勝忠平	第5隼福	雌	710	A5	8	444 kg	2,006
徳久福	平茂勝	神高福	雌	730	A3	5	489 kg	1,654
徳久福	百合茂	神高福	雌	670	A3	5	444 kg	1,611
夏秋花	百合茂	金幸	去	760	A5	11	503 kg	1,969
夏秋花	百合茂	安糸福	去	820	A4	7	536 kg	1,783
夏秋花	勝忠平	金幸	去	790	A3	4	500 kg	1,656
夏秋花	金幸	平茂勝	去	800	A4	7	514 kg	1,953
夏秋花	勝忠平	神高福	去	850	A5	9	548 kg	2,003
夏秋花	第2平茂勝	神高福	雌	780	A4	5	499 kg	1,870
夏秋花	平茂勝	安平	雌	750	A5	9	508 kg	2,001
夏秋花	勝忠平	金幸	雌	770	B4	6	521 kg	1,708
夏秋花	金幸	忠福	雌	750	A4	6	484 kg	1,818

全農ホームページ (<http://www.zennoh.or.jp/press/release/2014/32052.html>) より一部抜粋

【平成 26 年 10～12 月期の配合飼料供給価格について】 平成 26 年 9 月 26 日

1. 飼料穀物

とうもろこしのシカゴ定期は、5月中旬には480セント/ブッシュル台で推移していたが、その後良好な天候が続いたことから下落し、9月11日発表の米国農務省需給見通しで史上最高の生産量見通しとなったことなどにより、現在は340セント/ブッシュル前後で推移している。一方、シカゴ定期に加算される内陸産地からの輸送運賃などが、米国の景気回復により高騰し輸出価格の下落を一定抑える要因となっている。

今後は、冬場に向けた輸出需要の増加が予想されるものの、収穫が順調にすすめば大豊作が期待されることから、相場は弱含みで推移すると見込まれる。

2. 大豆粕

大豆粕のシカゴ定期は、5月には500ドル/トンを超える水準で推移していたが、豊作期待による米国産新穀大豆の下落を受けて420ドル/トン台まで急落した。しかし、米国産旧穀大豆の期末在庫率が3.85%と史上最低水準であり、大豆粕の輸出需要も旺盛であることから上昇し、現在は450ドル/トン前後で推移している。

国内大豆粕価格は、前期に比べシカゴ定期が下落していることから、値下がりが見込まれる。

3. 海上運賃

米国ガルフ・日本間のパナマックス型海上運賃は、5月中旬には45ドル/トンを超える水準であったが、南米産新穀の輸送需要が一段落したことや中国向け石炭等の輸送需要が低調であったことなどから、7月中旬には40ドル/トン台まで下落した。その後、北米産新穀の輸出需要の増加見込みなどから上昇に転じ、現在は45ドル/トンを上回る水準で推移している。今後は、新造船の竣工により船腹の供給は増加するものの、北米産新穀の輸出や中国の石炭輸入が本格化することから、堅調に推移すると見込まれる。

4. 外国為替

外国為替は、4月以降101円から103円前後のレンジで推移していたが、8月下旬に米国の住宅関連指標が良好であったこと、ウクライナ紛争の解決機運が高まりリスク回避の動きが弱まったことなどからレンジを超えた円安となり、さらに米国の利上げ時期が早まるとの見方などから円安がすすみ、現在は107円前後で推移している。

今後は、米国の景気回復への期待感から円は弱含みで推移すると見込まれる。

以上から、外国為替は円安であるものの、とうもろこしのシカゴ定期と大豆粕価格の値下がりなどにより、平成26年10～12月期の配合飼料供給価格は前期に比べ値下げとなる。

【セアカゴケグモに注意！】

【大崎流通センター：佐藤研治】

有毒クモのセアカゴケグモの発見が相次いでいます。全国の36自治体で発見され、宮城県でも確認されています。この種は日本にはいない種でしたが、外国から運ばれてくる荷物について国内に入ってきたと考えられています。輸入乾草コンテナ等に付着している可能性もあります。

セアカゴケグモの攻撃性は弱いのですが、咬まれると針で刺されたような痛みを感じ、咬まれた場所が腫れたり、熱く感じたりします。クモの生息しそうな場所はこまめに清掃し、クモの巣があれば棒切れなどで払って、巣を作らないようにするなど、クモが住みにくい環境を作るのが大事です。